

ターミネータ(終端抵抗)

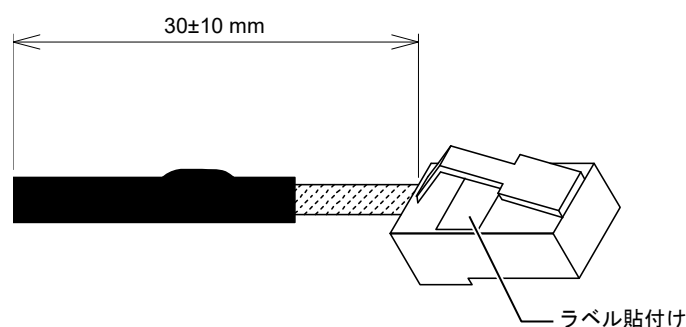
形DY7212A1100/1101

■ 概 要

LonTalk®プロトコルを使った通信の接続では、通信の性能確保のため、ターミネータによる終端処理が必要となります。バストポロジ接続の場合は、両端の機器にターミネータを接続し、フリースポロジ接続の場合は、どこか1個所にターミネータを接続します。

■ 仕 様

形 番	ラベル印刷内容	使用先	適用トランシーバ
DY7212A1100	FREE	フリースポロジ接続	FTT-10A
DY7212A1101	BUS	バストポロジ接続	FTT-10A



安全上の注意

ご使用前に本説明書をよくお読みのうえ、仕様範囲内で使用目的を守って、正しくお使いください。
お読みになったあとは、本説明書をいつでも見られる所に必ず保管し、必要に応じ再読してください。

使用上の制限、お願い

本製品は、一般機器での使用を前提に、開発・設計・製造されています。

本製品の働きが直接人命にかかわる用途および、原子力用途における放射線管理区域内では、使用しないでください。一般空調制御用として本製品を放射線管理区域で使用する場合は、弊社担当者にお問い合わせください。

特に ・ 人体保護を目的とした安全装置 ・ 輸送機器の直接制御(走行停止など) ・ 航空機 ・ 宇宙機器 など、安全性が必要とされる用途に使用する場合は、フェールセーフ設計、冗長設計および定期点検の実施など、システム・機器全体の安全に配慮した上で、ご使用ください。

システム設計・アプリケーション設計・使用方法・用途などについては、弊社担当者にお問い合わせください。
なお、お客様が運用された結果につきましては、責任を負いかねる場合がございますので、ご了承ください。

⚠ 注 意

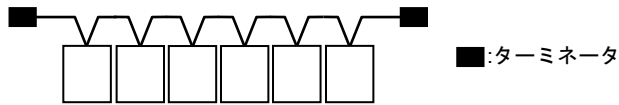


安全のため接続は、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。

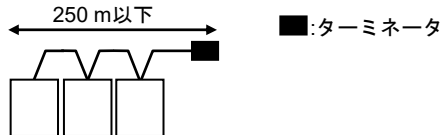
■ トポロジ接続

1) バストポロジ接続

両端の機器にそれぞれ接続 (計2箇所)



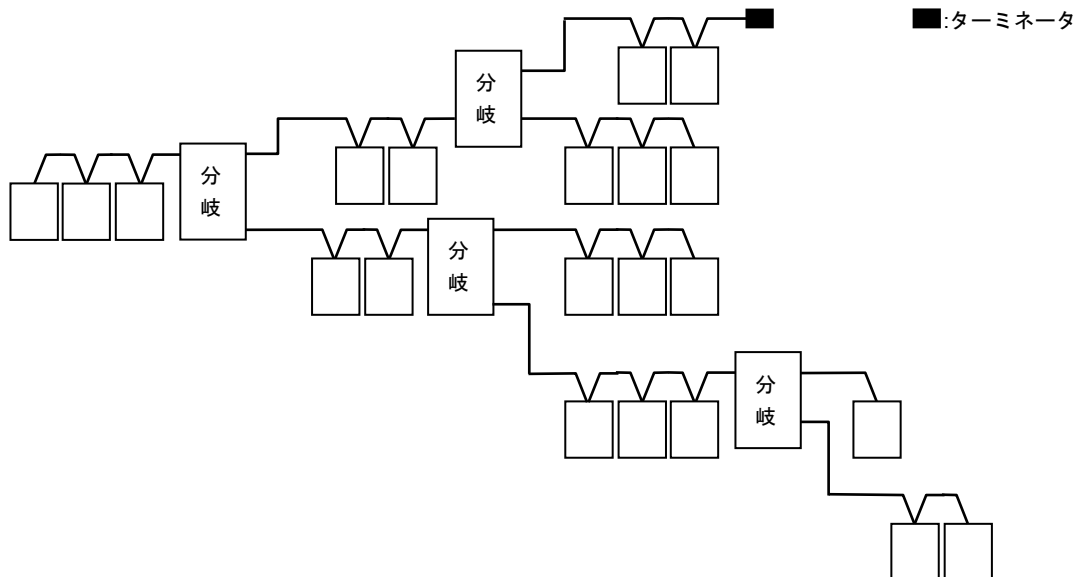
ただし、配線長が250 m以下の場合どちらか一方の端に接続でよい (計1箇所)*¹



*¹ この場合はフリートポロジ用のターミネータを使用してください。

2) フリートポロジ接続

システムのどこかの機器に1箇所接続 (計1箇所)



重要!! ●弊社で用意しているターミネータは、通信線に電源を供給するような、特殊な場合には使用できません。
(これは、機器に搭載されているトランシーバが、「FTT-10A」以外では使用できないことを意味します。)
●ターミネータは機器に直接接続するか、機器に接続されているLANケーブルへ接続します。

LonTalk®は、米国およびその他の国で登録されたEchelon社の商標です。

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー

azbil

[ご注意] この資料の記載内容は、予告なく変更
する場合がありますのでご了承ください。

お問い合わせは、コールセンターへ
0120-261023

<https://www.azbil.com/jp/>

ご用命は、下記または弊社事業所までお願いします。